

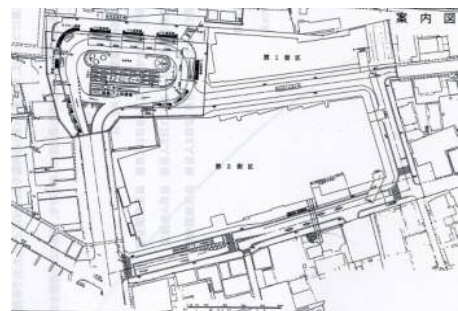
概要

地区名	岩槻駅東口地区
施行者	さいたま市（旧岩槻市）
所在地	さいたま市岩槻区本町三丁目の一部、一丁目の一部
地区面積	約2.0ha
事業期間	平成元年度～平成7年度
用途地域等	商業地域(80/500)、防火地域、高度利用地区
地区の概要	<p>岩槻市は、江戸時代に幕府の拠点として栄えた城下町であり、現在は「雛人形のまち」として知られている。首都圏に30kmに位置し、国道122号、16号が交差し、東北縦貫自動車道のインターチェンジを有する交通要衝の地である。</p> <p>当該地区は、東部野田線岩槻駅の駅前に位置するが、木造低層建築物が密集し、他都市と比べて商業集積が低く、駅前広場等の公共施設も不十分であり、その改善が課題となっていた。</p>

施設建築物の概要

棟名	西館 / 東館
敷地面積	2,399m ² / 8,567m ²
建築面積	1,670m ² / 6,767m ²
延床面積	8,300m ² / 52,528m ²
容積対象面積	-
建ぺい率	69.00% / 79.00%
容積率	332.00% / 490.00%
構造	A棟：鉄筋コンクリート造 B棟：鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
高さ	25.4m / 42.7m
規模	地上5階、地下1階 / 地上12階、地下1階
用途	機械室、スーパー（地下1階） 公共施設、スーパー、専門店、事務所、住宅、駐車場（地上1階～7階） 住宅（地上8階～12階）
住宅戸数	71戸

位置図



完成写真

